

登録コード:MH290300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	医療安全学 ・ 医療安全学実習 【22M以降】 Medical Safety Management I			
担当教員	松本 竹久 矢崎 正英・山内 一由			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	検査技術科学専攻3年 後期 月曜・ 5 時限 月曜・ 6 時限			
単位数、講義室	1 単位	保健学科 2 2 3 講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH22カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		日々の医療において臨床検査データの異常値がでる機序を理解・説明することができるようになる。医療倫理・安全管理について説明できる。	
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		臨床検査技師に必要な基本的な技術を修得し、タスクシフトに対応した医療手技に関しても理解し安全に様々な状況で活用できるようになる。	
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。		医療の現場において、臨床検査技師としてチーム医療の重要性を理解し、その中での臨床検査技師の関わり方を理解し、協働活動に参加できるようになる。合併症と医療事故および患者対応について説明できるようになる。	
	多くの学問分野に接して幅広い教養と探求的、創造的思考を身に付け、保健・医療の専門職者として必要な学修課題や目標を自ら設定し、常に課題の克服や目標達成に取り組むことができる。		医療の専門職として医療安全の実践に必要な知識と技能を理解し、医療の現場で活用できるようになる。	
	MH25カリ・保健・検査、MH23カリ・保健・検査			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		臨床検査技師に必要な医療安全や医療倫理に関する知識をタスクシフトに対応した技能の習得を通じて身に付け、医療現場の安全管理業務に活用できる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		医療現場で派生する多様な課題に対して、臨床検査技師の視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、患者に応じた安全かつ倫理的配慮がなされた医療の提供に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	医療倫理・医療安全（感染管理含む）・合併症と医療事故・患者対応（急変時対応含む）の概要を理解する。さらに、採血室業務に関わる臨床検査技師に必要な各種採血法と注意点（安全管理含む）の概要を理解し、その基本技術を修得する。 本授業は、3 年次前期の「臨床検査管理学」の知識を前提とし、3 年次後期の「医療安全学Ⅱ・医療安全学実習Ⅱ」の内容と相補的に学ぶ。本授業で修得する知識と技能は、4 年次の臨床実習および卒業研究において必須である。 本授業は、担当教員の医療機関における医療職としての実務経験を活かし講義を行う。			
授業計画	第 1 回（ 9 月 28 日） 医療倫理・医療安全と患者急変時の対応（松本） 第 2 回（10 月 5 日） 医療倫理 （山内） 第 3 回（10 月 14 日） 医療安全 （ゲスト講師） 第 4 回（10 月 19 日） 医療倫理・医療安全における法的知識と責任範囲感染管理（樋口） 第 5 回（10 月 26 日） 合併症と医療事故 （松田） 第 6 回（11 月 2 日） 患者急変時の対応（矢崎） 第 7 回（11 月 9 日） 感染管理 （松本） 第 8 回（11 月 16 日） 中間試験 （松本） 第 9 回（11 月 26 日） 各種採血法と注意事項・安全管理（安尾） 第 10 回（11 月 30 日） 採血時の安全管理、採血行為の範囲（新井） 第 11 回（12 月 7 日） 採血の種類、採血に際しての注意事項（木村） 第 12 回（12 月 14 日） 採血の部位と手段、乳幼児の採血（新井） 第 13 回（12 月 21 日） 採血に伴う静脈路確保（電解質輸液の注入を含む）（新井） 第 14 回（ 1 月 4 日） 生理系検査演習（新井、平、重藤） 第 15 回（ 1 月 18 日） 採血演習 授業アンケート（新井、平、重藤） 第 16 回（ 1 月 25 日） 期末試験（松本）			
授業の進め方	プリント、スライドを用いる講義と、グループ学習、演習を行う。			
テキスト、教材、参考書	最新 臨床検査学講座 医療安全管理学 第2版 医歯薬出版			
成績評価の方法	筆記試験、課題レポートに基づいて総括的に成績を評価する。 総括評価の配分は、筆記試験80%，課題レポート20%とし、60%以上の獲得を合格とする。			
成績評価の基準	【筆記試験の評価基準】 講義内容と同レベルの問題が解ければ「水準にある(可)」，応用問題が解ければ「やや上にある(良)」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある(優)」，講義内容からは難しい応用 問題が解ければ「卓越している(秀)」ことを基準とする。 【課題レポートの評価基準】 課題の目的・方法・結果が正確に記述されていれば「水準にある」，目的・方法・結果のより詳細な記載があり、且つ考察が理論的に展開されていれば「やや上にある」，考察に論文			

成績評価の基準	の引用や自分の見解が提示されていればその程度に応じて 「かなり上にある」～「卓越している」と評価する。ただし、ウェブサイト等からの転用、盗用が発覚した場合には当該レポートの評価は不可（0点）とする。 成績評価の判定基準は、90～100点が秀、80～89点が優、70～79点が良、60～69点が可とする。
事前事後学習の内容	【事前学習について】 これまでに臨床検査学の各教科の授業で学んだ内容を整理し、総合的な復習を行ってから授業に臨むこと。 【事後学習について】 講義、教科書、配布資料に基づき復習を行う。また理解不足の内容については必ず自分で調べたり、担当教員に質問し解決しておく。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間15時間（1時間×15回）＝45時間 ＊以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	これまで学んだ知識や技術を包括的に身に付ける重要な講義となるため、事前、事後学習により体系的な理解度を高めていく必要がある。 なお、講義内容や各教員の担当日は変更になることがあり、正式な日程・担当教員については、初日のガイダンスで連絡する。 個別の質問等は随時受け付ける。 質問への対応 山内一由 yamauchi@shinshu-u.ac.jp 矢崎正英 mayazaki@shinshu-u.ac.jp 太田浩良 hohta@shinshu-u.ac.jp 松田和之 matsuda@shinshu-u.ac.jp 松本竹久 tmatsumoto@shinshu-u.ac.jp 安尾将法 yasumasa@shinshu-u.ac.jp 木村文一 kimura_f@shinshu-u.ac.jp 樋口由美子 sasa0922@shinshu-u.ac.jp 平千明 tairacha@shinshu-u.ac.jp 新井慎平 arais@shinshu-u.ac.jp 重藤聖子 seikok@shinshu-u.ac.jp